

〈解答〉

- ① 1 (1) ①：朝廷 ②：京都 ③：六波羅探題
(2) ア
(3) ウ
(4) 宗教改革
- 2 (1) 〔例〕 武士と農民の身分の区別を明らかにする
(2) 改革：寛政の改革 記号：ウ
(3) エ

配点 各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1(1) 承久の乱は、1221年、朝廷の勢力を回復しようとして、後鳥羽上皇が幕府をたおそうと兵を挙げたが、幕府側の勝利に終わった戦いである。幕府は、後鳥羽上皇を隠岐（島根県）に流し、京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視した。また、上皇に味方した貴族や西日本の武士の領地を取り上げ、その地頭には東日本の武士を任命し、幕府の支配を固めた。
- (2) 金閣は京都の北山の別荘に建てられた。南北朝を統一した第3代将軍足利義満の時期の文化を北山文化という。イの銀閣は第8代将軍足利義政が京都の東山の別荘に建てた。この時期の文化を東山文化という。ウの平等院鳳凰堂は、平安時代の1053年に藤原頼通が現在の京都府宇治市に建てた平等院の阿弥陀堂（阿弥陀仏を本尊としてまつるお堂）である。エの中尊寺金色堂は、平安時代末、平泉（岩手県）にある中尊寺の阿弥陀堂で、金や馬などの産物と北方との交易によって栄えた奥州藤原氏が、浄土へのあこがれから建てた。
- (3) コロンブスは、1492年に大西洋を横断して、アジアに向かおうとしてカリブ海の島に到達して、そこをインドだと考えた。バスコ・ダ・ガマは、1498年にインドに到達して、ヨーロッパとインドが初めて海路で直接つながった。マゼランは、1519年に世界周航に出発し、1522年にマゼランの船隊は世界一周を成しとげた。マゼランはフィリピンで原住民に殺されている。
- (4) 16世紀にキリスト教の教皇が、人が罪を犯しても、ざんげして教会に献金すれ

ば許されるとする免罪符を売り出すと、これを批判して、1517年にドイツでルターが、信仰を中心に教会のあり方を正し、キリストの精神にかえろうとする宗教改革を始めた。かれらは、「抗議する者」という意味でプロテスタントとよばれた。

- 2(1) 豊臣秀吉は、ものさしやますを統一し、太閤検地を行って、全国の田畑のよしあしを調べ、予想される収穫量を石高で表し、その石高に応じて年貢を負担させた。これにより、荘園制度は完全になくなった。また、武力による一揆を防ぐため、農民や寺社から刀や弓、やり、鉄砲などの武器を取り上げ、農民にはもっぱら田畑の耕作に従事させることにした。これらの政策により、武士と農民の身分の区別が明確になった。これを兵農分離という。
- (2) アは徳川吉宗の享保の改革、イは徳川綱吉の政治、エは水野忠邦の天保の改革である。
- (3) 大和絵は、9世紀から10世紀にかけて生まれた、日本の自然や風俗を題材とした絵で、日本画のもとになった。錦絵は、江戸時代中ごろ以後の多色刷りの浮世絵版画で、鈴木春信が始めた。浮世絵とは江戸時代の風俗画で、美人画、風景、花鳥などが描かれた。菱川師宣は江戸時代前期の元禄文化のころの浮世絵画家で、代表作に「見返り美人図」などがある。喜多川歌麿は化政文化のころの浮世絵画家で、美人画を描いた。また、葛飾北斎や歌川〔安藤〕広重は、風景画で優れた作品を残した。